

田中氏からの報告（要約）

45 年勤務したリーガロイヤルホテルを今年 6 月に退職。韓国籍のお得意様がその 6 月にあわせて、参列者 420 名、売り上げ 2650 万円の結婚式を行ってくださった。式はホテル内のチャペルの中で、韓国式宮廷衣装をまとして韓国式に行われた。参列者が太鼓や音楽で踊りまわるお祭りのような披露宴が 5 時から 9 時まで続き、そのあと、別室で「嫁入り式」があり、2 次会は 10 時から夜中の 1 時半までという異例の結婚式披露宴であった。花代が 450 万円、写真代が 330 万円、食事代が 1 人 2 万円という豪華さ。一番感銘を受けたのは、新郎新婦が会場に入ったときに、真っ先におこなったのが両親に跪いて挨拶したことで、いかに親を深く慈しみ敬っているかが伝わってきた。また、より多くの人に祝ってもらいたいという気持ちがあるので、参列者が当日急に増えるのが韓国結婚式の特徴である。こうした日韓の結婚式の違いについて岡田先生の講義とあわせて考えてみてください。